

平成 22 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	評価責任者 (基本施策主管課長)	市民生活課長 奥水 悦子
-------	----	---------------	---------------------	-----------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系		基本目標 安心・安全
政 策		事故や犯罪のない安全なまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果 市民意識調査によると、基本施策の必要性、満足度は平均値より高い。</p>
③	基本施策の現状と課題	①交通事故は減少傾向にあるが、人身事故(死亡事故)が増加傾向にあること ②特に高齢者の交通事故が増加していること
④	基本施策の意図、今後の展望	交通事故の発生と交通事故死者を抑止や、消費者が悪質商法によるトラブルに巻き込まれないよう、情報提供や啓発活動を促進する。また、自分たちの地域は自分たちで守るといふ防犯意識を醸成し、安心して暮らせる環境をつくる。 ①広報紙や行政情報チャンネルを利用した情報発信と啓発の充実、③関係機関と連携した啓発活動の充実などの事業を実施したい。

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補		重点化
交通安全意識が高揚する		交通安全実践教室参加者数		1
交通人身事故の削減		交通人身事故件数		2

基本施策指標名	単 位	過年度実績			評価年度			目標値	ベンチマーク	指標の説明
		H20	H21	H22	H25	H30				
1 交通安全実践教室参加者数	目 標	人	50	50	45	60	85			啓発や交通安全教室に参加する人が多いほど、交通安全意識の高揚した社会となり、事故減少が図れる
	実 績	人	33	38						
	達成率	%	66.0	76.0						
2 交通人身事故件数	目 標	%		540	450	420	400			交通人身事故の減少が交通事故死亡者の減少につながる。 10パーセント減少を目標とする
	実 績	%	608	494						
	達成率	%	#DIV/0!	91.5						
	目 標									
	実 績									
	達成率	%								
	目 標									
	実 績									
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!						

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	I D	事 業 名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			重点化
				H21 決算額	H22 予算額	H23 所要額	
1	217-1	自治振興費		13,803	14,360	14,360	
2	144	交通安全対策経費		7,046	7,893	8,600	
3	899	交通安全対策経費		1,448	1,460	1,460	
4	959	交通安全対策経費		732	734	720	
5	1005	交通安全対策経費		1,465	1,467	1,467	
6	1063	交通安全対策経費		1,451	1,480	1,470	
7	1135	交通安全対策経費		2,908	2,906	2,906	
8							
9							
10							
(以下 続紙)							
事業費 合計					28,853	30,300	30,983

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	高齢化の進展に伴い、特に高齢者の交通事故を防止するために、高齢者を対象とした交通安全教育が不可欠である。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	民間団体、関係機関と連携して実施しており、高齢者が実践的に学び交通安全意識をさらに深めることができる。教室での学習を地域での普及に活かし、地域の交通安全のリーダーとして啓発活動してもらえ。高齢社会は進展の一途であることから、実施回数を増やす必要がある。
3 役割分担の妥当性	参加者の募集は老人クラブの協力を得ており、自動車学校の施設を利用して実施している。県や警察、民間団体と連動した啓発を実施している。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	加齢に伴う身体的機能の低下などが交通事故につながることから、運転技術や交通法規の再認識し、一人ひとりの交通安全に対する認識を高める機会となり、必要性が高い。高齢化が進展し対象者が増加することから、実施回数を増やす必要がある。